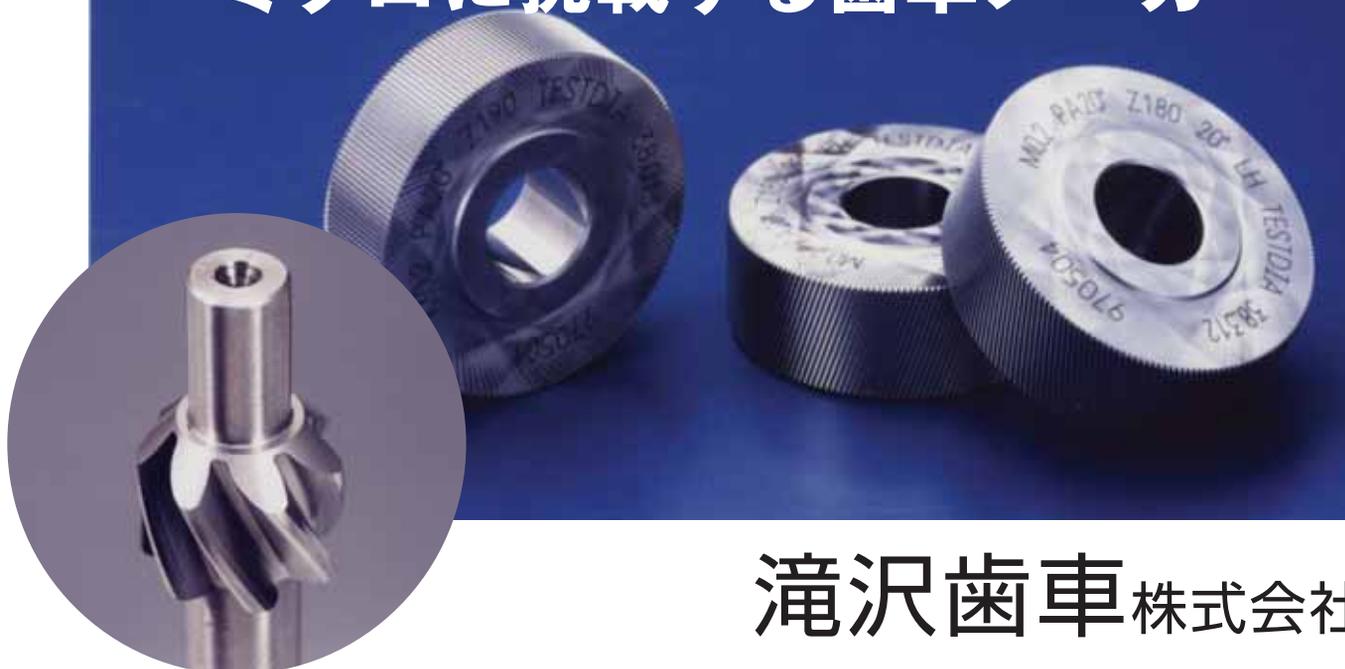


精度は最高級M00 ミクロに挑戦する歯車メーカー



滝沢歯車株式会社

微小モジュールが自慢の マスターギヤ

動力の伝達に欠かせない歯車を作っている滝沢歯車。同社が作るマスターギヤは、モジュールM0・2と微小モジュールを誇る。歯車精度は最高級のM00級。高い精度が自慢だ。これはプリンター等に使用される歯車を検査するマスターギヤとして使われている。特に最近では、部品が精密化しているため、同社の持つ使命も大きくなっているという。

また、自動車のトランスミッションの中に入っている歯車は、ラインに投入する前にギヤ選別機を通し、良品だけが使用される。その選別機で使われているのも、同社のマスターギヤだ。少しの狂いも許されない現場で使用されるものだけに、高い技術と信頼が求められる。同社は創業以来、歯車加工一筋に取り組んでき



た技術の蓄積があるからこそ、精密な歯車を作り出すことが可能なのだ。同社では歯車精度検査成績を出し、高い精度を証明している。歯形修正等の特殊加工ができるのも同社の強みだといえる。

「こういったギヤはマシンを操作する人の手で違ってくるものです。当社では私よりも若い者の方が精巧に仕上げますよ。これは根気がある仕事ですからね、1mmという世界の仕事は短気ではできないんですよ」と話す滝沢清志社長は若手の成長に目を細める。それも同社の技術が継承できている証しだろう。

「放電マスター」で 歯車以外にも対応

同社では、その高い技術を見込んだ金型メーカーから、歯車以外の依頼を受けることもあるという。そのひとつが、滝沢社長が「放電マスター」と名づけた電極だ。歯元のR形状をつけることで、金型の寿命を延ばすことに貢献している。歯先のC面やR面等の面取り、樹脂等熱を加えることでひずみが出る材料の収縮にも対応が可能だ。同社の高い技術が、不可能を可能にしているのだ。

「展示会に出展すると、他ではできない加工ができるということや、お声掛けいただくことが多いですよ。面取り加工やR形状等、細かい加工ができるのが強みですね」。展示会は若い社員が率先して、工夫をこらしているというが、その成果は着実に現れてきている。

「当社は若い社員が育ってきていま

す。加工するおもしろさを知ってほしいと思いますね。コツコツと取り組んだ人が、力をつけてきています。私も新しい分野に取り組みようと、今でも各地の大学の教授に教えを請いに行っています」。業界最先端の技術を誇りながらも、さらなる高みを目指しているのだ。

謙虚に語る滝沢社長だが、業績は着実に伸び、平成20年には工場の拡充工事が完了。ますます、全国に発進する企業として羽ばたこうとしている。

滝沢歯車株式会社

住所 / 〒578-0984
大阪府東大阪市菱江292
創業 / 昭和25年11月
設立 / 昭和32年4月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 14名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-961-2057
FAX / 072-961-2059

Company Profile



滝沢清志さん
代表取締役

主な事業内容

各種歯車、歯切・
歯研製造加工、開
その他歯車製造
連機器の製造
加工等

ISO 9001

全国
20

関西
20

大阪
19

<http://www.takizawa-gear.com/>